




音楽科 単元デザインシート		
単元名	学年	2 学年
交響組曲「シェエラザード」から 第1楽章（鑑賞）	生徒数	38名
	授業者	
1 単元の目標		
知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の題材，作られた歴史的背景や時代背景を知り，作品との結び付きを理解する。</li> <li>音楽を形づくる諸要素や様式，そこから感受できる自身の感覚的経験を言葉に置き換え，表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲者の意図を作曲の経緯，素材，様式やオーケストレーションから考察し，根拠をもって説明することができる。</li> <li>音楽のあり様を言葉を用いて表現し，文字や会話で他者と交流する中で新たな価値観を創造することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲にまつわる文字情報や使用されている楽器等の音からの情報をより多く取り込もうとしている。</li> <li>自分のもち合わせている言葉だけでなく，新たな言葉を取り入れ，自分の感覚を更に分かりやすく表現しようとしている。</li> </ul>
2 単元における「学習課題」と「期待する子どもの姿」		
【単元の学習課題】 言葉を用いて言葉ではない音楽を表現しよう。		
【期待する子どもの姿】 作品に対して自分の納得できる価値を，根拠をもって付与させることのできる子ども。		
3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた具体的な子どもの姿と手立て		
主体的な学び	対話的な学び	深い学び
 見通しをもつ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">           課題の解決に対する目的意識を明確にもっている。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習課題や期待する子どもの姿を子どもと共有し，単位時間の見通しをもつ場面や振り返りの場面で確認できるようにする。</li> <li>振り返りの場を設定し，学習の成果や課題に気付けるようにする。</li> <li>授業ごとに変わる情報のあり方をきちんと捉えさせ，自分の活用できる情報として整理することを心掛ける。</li> </ul>	 協働して解決する <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">           友だちと協力して課題の解決につながりそうな情報を探したり，選択・吟味したりしている。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽的な視点（音楽を形作る要素やニュアンス等を用いるという意味）で対話し，表現する言葉に生かすことができるように対話の視点を明確にする。</li> <li>他者との学び合いや多様な情報収集，精査によって課題が解決したことへの価値付けを行う。</li> </ul>	 新たなものを創り上げる <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">           音楽的な見方・考え方を働かせながら友だちと協力して形をつくっている。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人→グループ→全体へと活動を広げたり行き来したりして，自分や他者の表現のよさや面白さを取り入れながら表現方法を模索することができるように学習の過程を工夫する。</li> <li>自分の学びを次時の学びへつなげていけるように自分の言葉（表現）でまとめる時間の保障し，自己評価の場を設定する。</li> </ul>

